

2011年度

科目名	文化財科学 I (分析科学)		
担当教員	広岡 公夫		
配当	文財4	コード	53069
開期	前期	講時	金曜日3限
		単位数	2
授業テーマ	遺跡・遺物・文化財に関する種々の年代測定法について解説する。		
目的と概要	歴史科学にとって、年代を知ることは必要不可欠な事項であるが、文化財の種類によって適用できる測定法が異なるので、諸方法の原理と試料採取の際の注意事項、および、年代データの科学的取り扱い法の基礎をのべる。		
成績評価法	テストおよびレポート(70%) + 平常点・授業時の発言(30%)		
テキスト	特に指定しない。		
参考書	「考古学のための年代測定法入門」/長友恒人編/古今書院、「必携考古資料の自然科学調査法」考古調査ハンドブック・2/齋藤努監修/ニューサイエンス社、「博物館実習マニュアル」/博物館講座協議会編/芙蓉書房出版		
履修に当たっての注意・助言/準備学習	積み上げ式の授業形態なので、毎週出席することが大切です。 毎週、シラバスの講義計画にしたがって、上述の参考書などで復習することが重要です。		
講義計画			
第1回	はじめに・・・・・・・・文化財科学と年代測定の基本		
第2回	種々の年代測定法の概要①・・どんな文化財に適用できる年代測定法か?		
第3回	種々の年代測定法の概要②・・どんな文化財に適用できる年代測定法か?		
第4回	放射性炭素 (C14) 法①・・原理		
第5回	放射性炭素 (C14) 法②・・適用できる文化財		
第6回	放射性炭素 (C14) 法③・・適用年代範囲と問題点		
第7回	カリウム-アルゴン法①・・原理と適用年代		
第8回	カリウム-アルゴン法②・・問題点		
第9回	フィッシュントラック法①・・原理と適用可能試料		
第10回	フィッシュントラック法②・・問題点		
第11回	熱ルミネッセンス法①・・原理と適用可能試料		
第12回	熱ルミネッセンス法②・・適用年代と問題点		
第13回	考古地磁気法①・・地磁気変動と原理		
第14回	考古地磁気法②・・適用年代と問題点		
第15回	その他の年代測定法		